

滋賀県

全国で2番目に病床数が少ない県 での地域移行 ～何を目指すのか～

滋賀県は、全国で2番目に精神科病床数が少ない県であり、国の目指す病床削減を目的とせず、「長期入院者が望む暮らしを実現させるための地域の受け皿作り」を通して、退院から地域生活に向けた支援の体制整備を図ることを目的として実施してきた。

1 県の基礎情報

滋賀県

湖西福祉圏域

精神科病院 ……0カ所
○デイケア ……0カ所
精神神経科診療所…0カ所
○デイケア ……0カ所
精神保健福祉手帳 360人

湖北福祉圏域

精神科病院 ……2カ所
○デイケア ……1カ所
精神神経科診療所…1カ所
○デイケア ……0カ所
精神保健福祉手帳 979人

湖東福祉圏域

精神科病院 ……1カ所
○デイケア ……1カ所
精神神経科診療所…3カ所
○デイケア ……1カ所
精神保健福祉手帳 960人

大津福祉圏域

精神科病院 ……5カ所
○デイケア ……1カ所
精神神経科診療所…8カ所
○デイケア ……1カ所
精神保健福祉手帳 2,256人

湖南福祉圏域

精神科病院 ……2カ所
○デイケア ……2カ所
精神神経科診療所…9カ所
○デイケア ……0カ所
精神保健福祉手帳 1,519人

東近江福祉圏域

精神科病院 ……1カ所
○デイケア ……1カ所
精神神経科診療所…0カ所
○デイケア ……0カ所
精神保健福祉手帳 1,309人

甲賀福祉圏域

精神科病院 ……1カ所
○デイケア ……1カ所
精神神経科診療所…1カ所
○デイケア ……0カ所
精神保健福祉手帳 798人

★7福祉圏域の合計(全県)

●精神科病院 ……12カ所
●精神神経科診療所 ……22カ所
○デイケア ……9カ所

取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・県内推進チーム会議の設置・中核的人材育成研修の開催

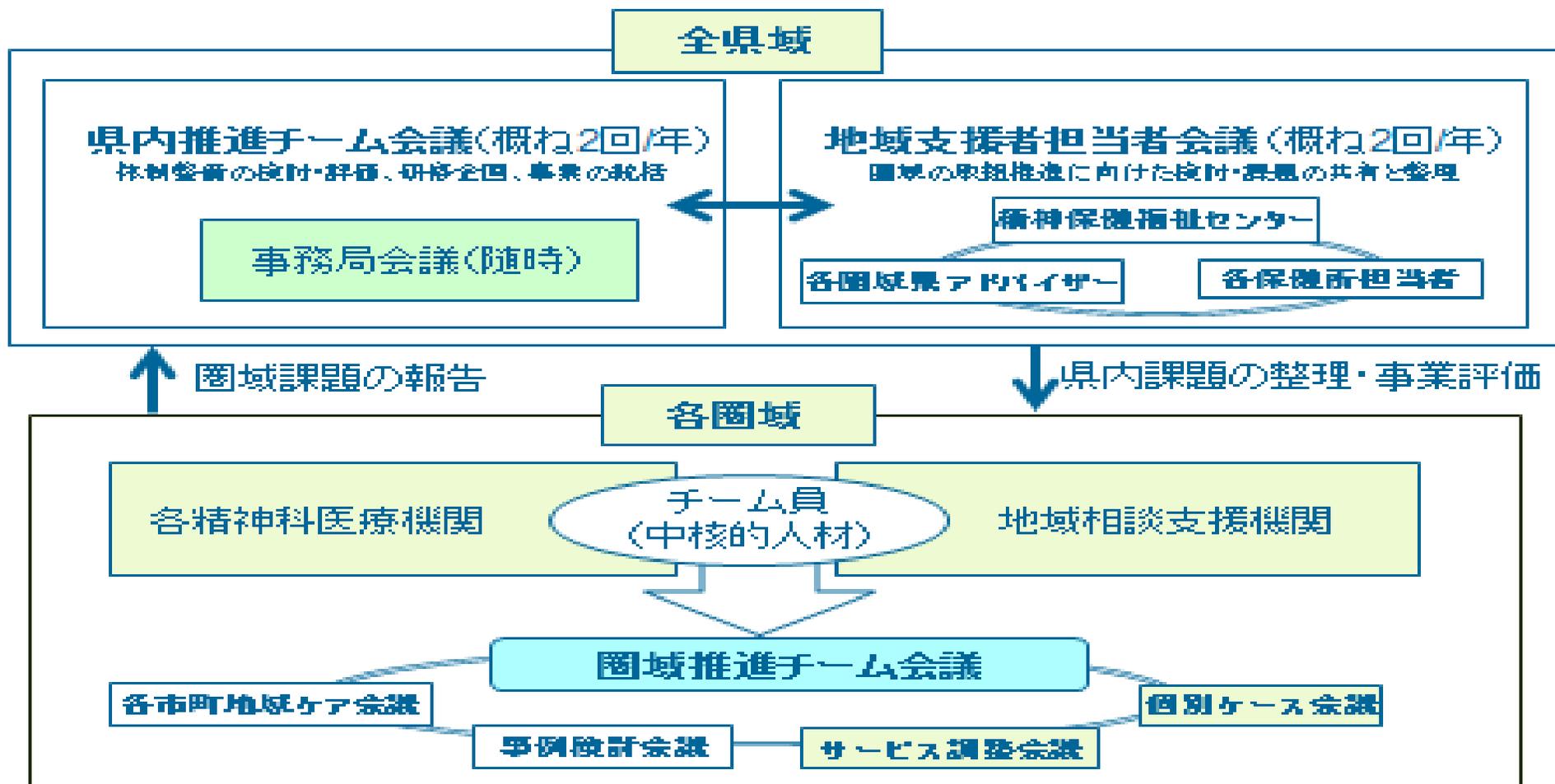
基本情報

障害保健福祉圏域数 (H30年4月時点)	7	カ所		
市町村数 (H30年4月時点)	19	市町村		
人口 (H30年1月時点)	1,412,735	人		
精神科病院の数 (H30年4月時点)	12	病院		
精神科病床数 (H30年4月時点)	2,317	床		
入院精神障害者数 (H28年6月時点)	合計	1,935	人	
	3か月未満 (%:構成割合)	430	人	
		22.2	%	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	281	人	
		14.5	%	
1年以上 (%:構成割合)		1,224	人	
		63.3	%	
	うち65歳未満	427	人	
	797	人		
退院率 (H27年6月時点)	入院後3か月時点	54.1	%	
	入院後6か月時点	78.0	%	
	入院後1年時点	83.2	%	
相談支援事業所数 (H28年10月時点)	基幹相談支援センター数	4	カ所	
	一般相談支援事業所数	25	カ所	
	特定相談支援事業所数	98	カ所	
保健所数 (H30年4月時点)	7	カ所		
(自立支援) 協議会の開催頻度 (H29年度)	(自立支援) 協議会	12	回/年	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (H30年4月時点)	都道府県	有	1	カ所
	障害保健福祉圏域	有	7 / 7	カ所/障害圏域数
	市町村	無	/	カ所/市町村数

	3ヶ月未満入院者数	3か月以上1年未満入院者数	1年以上入院者数	政策効果による地域移行数(目標値)	合計
平成27年6月末	443 人	306 人	1,239 人		1,988 人
平成28年6月末	437 人	296 人	1,250 人		1,983 人
平成29年6月末					0 人
平成32年度末				232 人	
平成36年度末				546 人	

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

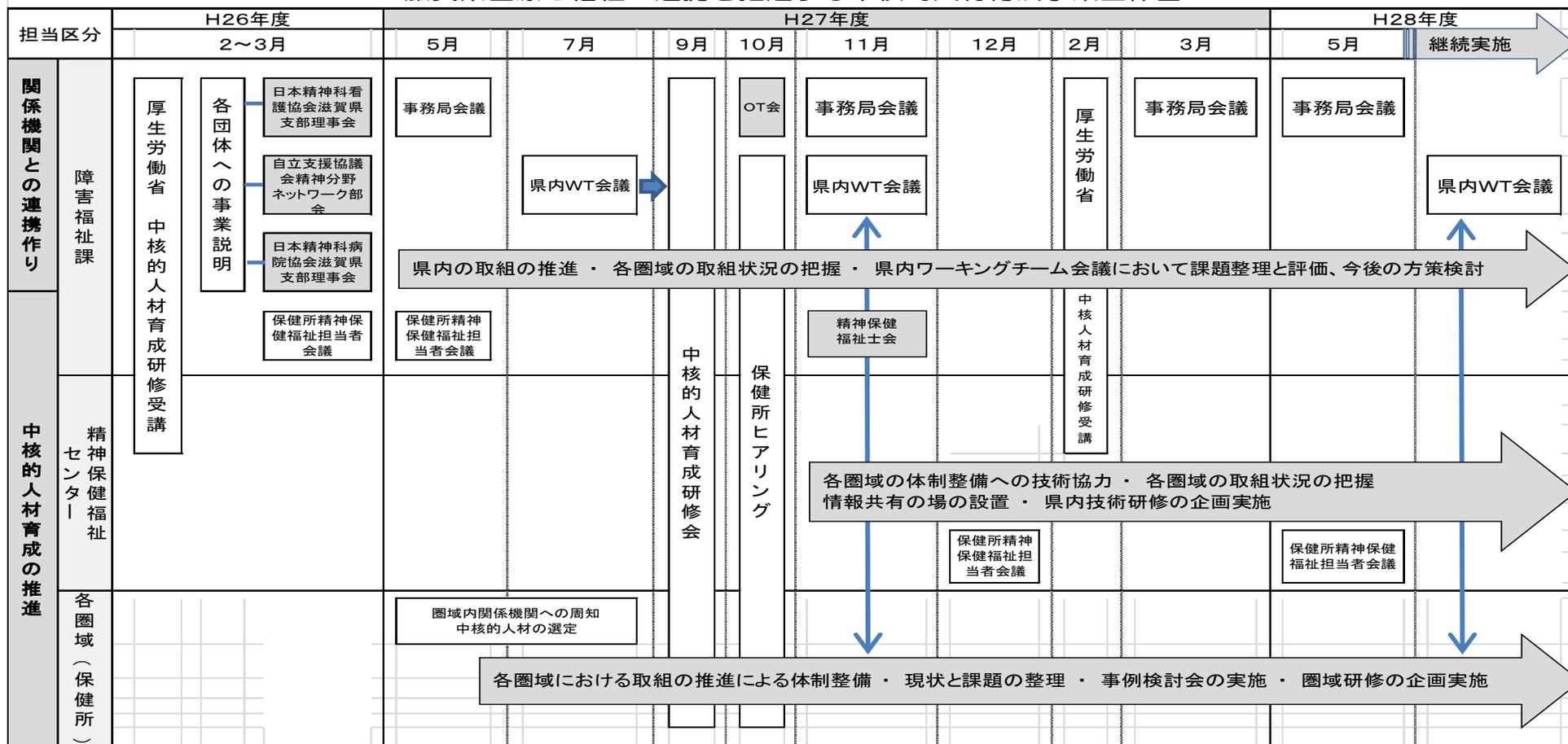
滋賀のみんなで作る地域精神医療保健福祉チーム関連会議



3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成16年に国が策定した「精神保健医療福祉の改革ビジョン」を受けて滋賀県では、退院促進事業→地域移行・地域定着支援事業（平成19年度～平成23年度）、精神障害者アウトリーチ推進事業（平成23年度下期～平成25年度）を実施した。その後は、

滋賀県医療と福祉の連携を推進する中核的人材育成事業全体図



4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

【特徴(強み)】

1. 各圏域での体制整備の充実
2. ピア活動への参画
3. 県内の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けてより重層的な体制の整備

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
方向性の統一(県の課題や方向性の共有)	役割の理解と具体化 具体的取組のイメージ化	行政側	精神保健福祉担当者会議等で共有
		医療側	圏域会議等で情報共有
		事業者側	自立支援協議会等で情報共有
		関係機関・住民等	自立支援協議会等で情報共有
専門性強化のための研修・実践体系の構築	地域精神保健福祉の体制強化 行政精神保健福祉活動の強化研究	行政側	精神保健福祉担当者会議等で共有
		医療側	圏域会議等で情報共有
		事業者側	自立支援協議会等で情報共有
		関係機関・住民等	自立支援協議会等で情報共有

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①圏域推進チーム会議の設置	検討する場の確保	3圏域	7圏域
②圏域内人材育成研修	人材育成の組織的体制整備	3圏域	7圏域
③病院での会議開催	医療機関従事者の参画	4圏域	6圏域

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール①

平成30年度の到達目標

- ①障害福祉圏域の体制整備について
- ②他職種連携研修会の開催について
- ③ピアサポートの体制整備について

時期 (月)	実施する項目	実施する内容	該当する 目標番号
H30年 度	障害福祉圏域の体制整備	県内の障害福祉圏域で開催されている圏域内の会議への参画	①
H30年 10月頃	多職種連携研修会の開催	圏域体制整備を構築するための人材に対して、先進地等で実践している講師を招いての研修	②
H30年 11月	ピアサポートの体制整備	県内のピアスタッフが所属する関係団体で構成するピアサポートネットワークへの参画および啓発活動	③

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	1,239	1,250	—	1,143	—
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	7	8	—	—	X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	—	—	—	—	
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	17	—	—	—	
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	—	—	—	—	
⑥	地域移行を促す基盤整備	X	X	X	464	
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及				167	180
⑧	認知症施策の推進				51	54

目標値

【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。